

## 令和8年度 民族共生象徴空間 園内デジタルコンテンツ制作等業務 仕様書

### 1 業務名

令和8年度 民族共生象徴空間 園内デジタルコンテンツ制作等業務

### 2 業務目的

ウポポイ誘客促進戦略（令和6年3月国土交通省北海道局）において、「子どもやインバウンドといった来場者の属性に応じたコンテンツ、寒暖晴雨や朝夜時間等に対応したコンテンツが用意されていない。」「児童生徒や学生が楽しめるコンテンツが用意されていない。」「アイヌ文化やウポポイを知らない人・関心を持たない人を惹きつけるコンテンツが少ない」など、誘客に係るウポポイの現状、課題、必要な取り組みについて指摘されたところである。

本業務は、子どもを含む道内外のアイヌ文化への関心が薄い層やウポポイを認知しているものの、来場に結びついていない層へ来場の動機付けとなるよう、多目的ホールを活用し、子どもの頃からのアイヌ文化への親しみ醸成などファミリーを含む幅広い層にアイヌ文化への興味を持っていただくためのデジタル技術を活用したコンテンツを企画・制作・設置し、アイヌ文化へ関心を持つ層の増加及びウポポイへの誘客促進を図るものである。

### 3 履行期間

契約締結の日から令和9年3月31日（水）まで

### 4 履行場所

白老町ウポポイ内の多目的ホール。利用可能空間は別図のとおり。

### 5 業務内容

#### （1）デジタルコンテンツの企画・制作・設置

アイヌ文化の要素を取り入れ、以下の要件を満たす複数のコンテンツを企画・制作・設置すること。

- ① デジタル技術を活用し、幅広い層が直感的に楽しめる仕掛けにすること。
- ② 対象年齢を踏まえたアイヌ文化の一端に触れる「学びの要素」を考慮しつつ、遊びの要素も含めること。
- ③ アクション性、インタラクティブ性、エンターテインメント性を勘案した動きのある内容にすること。
- ④ 幼児・子供を含むファミリー層を主眼にするほか、一部は大人が楽しめる奥行きを持たせること。

⑤ 大人が楽しめるコンテンツには、インバウンド客の利用を想定し、英語等による表示又は音声ガイドを措置すること。

⑥ アイス文化の表現にあたり、必要な調整及び確認を行うための発注者との会議を企画、主導すること。

## (2) 展示空間の構築

デジタルコンテンツの魅力を最大化するための以下の空間作りを行うこと。

① 少なくとも正面、左壁面、右壁面の三面を利用すること。また、左・右壁面にはそれぞれ複数のコンテンツが配置できるようにすること。

② 正面に設置されている大型モニターをコンテンツの一部として組み込むこと。

③ 没入感やアクション性を高めるため、床面への投影やセンサー設置等も検討に含めること。

④ コンテンツ投影に必要なプロジェクター、センサー、音響機材等の調達・設置一式を行うこと。

⑤ 没入感を高めるための多目的ホールの内装改修を別途予定していることを考慮すること。

## (3) 運用の効率化等

多目的ホールは、通常時、デジタルコンテンツを利用するが、イベント等の実施により、同コンテンツを利用せず、収納型座席を格納した状態又は収納型座席を活用した運用も行われることから以下を考慮すること。

① デジタルコンテンツを利用した場合とそうでない場合の運用に支障が生じないよう、収納型座席の展開、収納、正面大型モニターの使用を妨げないものとする。

② デジタルコンテンツを利用した場合とそうでない場合の切り替えが効率的に行えること。

③ デジタルコンテンツの不具合に迅速に対処できるシステム及び構成にすること。

④ デジタルコンテンツは有料の体験プログラムを予定していることを考慮すること。

## (4) 広報・PR 素材の作成

デジタルコンテンツの広報用素材及びリーフレットを制作すること。

## 6 自由提案

上記5のほかにウポポイの認知度向上及び誘客促進につながる、より効果的と思われる企画がある場合は、参考業務規模の範囲内で提案することも可とする。

## 7 成果品等

### (1) 実績報告書

実施状況、履行した補助等内容を記載した実績報告書を提出すること。

報告書については、電子媒体及び紙媒体各1部を提出するものとする。

## (2) 監修、著作権

- ① デジタルコンテンツ及び広報・PR 素材の内容については、仮編集や初校の段階で発注者の確認・監修を受けること。
- ② 本委託業務に係る成果品（データ）の所有権及び著作権は、原則、委託者に帰属する。
- ③ 委託者に帰属することができない著作物の内容については、事前に委託者と協議すること。
- ④ 第三者が権利を有する著作権（写真、音楽等）を使用する場合には、著作権、肖像権等に厳重な注意を払い、当該著作物の使用に関して費用の負担を含む一切の手続きを受託者において行うものとする。
- ⑤ 受託者は、成果物にかかる著作物につき著作者人格権を行使しないものとし、当該著作物の作成者が受託者以外の第三者の場合、当該第三者をして委託者に対して著作者人格権を行使させない旨の合意を交わすものとする。
- ⑥ 本仕様書に基づく業務に関し、第三者との間で著作権に係る権利侵害の紛争等が生じる場合には、当該紛争等の原因が専ら委託者の責任に帰す場合を除き、受託者は自らの責任と負担において一切の処理を行うものとする。

## 8 その他必要な事項

本仕様書に記載されていない事項、または本仕様書について疑義が生じた場合は、委託者と適宜協議すること。

## 9 その他

- (1) 本業務に必要な基礎資料等については貸与する。なお、貸与資料は委託者の承諾なしに公表し、又は複製してはならない。
- (2) 受託者は、業務の実施期間中、委託者の要請に応じて、随時、業務の進捗状況等を報告すること。
- (3) 本業務を実施するにあたり、全体の進捗状況を把握し、各部門のスタッフと連携できる運営責任者を置く。委託者との調整は運営責任者を通じて行うこととする。
- (4) 本業務の実施にあたり、受託者において対外的に公表する必要がある事案が発生した場合は、速やかに委託者に報告及び相談すること。